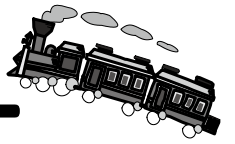


高齢者の暮らしを応援!

有田川町地域包括支援センター



今回のテーマ

もしもノート



地域包括支援センターは、金屋と清水の2カ所で高齢者のさまざまな相談に応じています。

最寄りの事業所にご連絡ください。



32-5102 (吉備・金屋)
25-1269 (清水事業所)

有田川町の医師や病院職員、地域包括支援センター職員で構成された有田川町認知症連携の会が中心となり作成した「有田圏域地域連携パス もしもノート」が今年度から運用が開始されました。

もしもノートは、検査記録や普段飲んでいる薬など、健康に関する情報を書き込めるノートです。病院での受診時や介護保険サービスの利用時に提出すれば、スムーズに治療や介護が受けられることを目指した連携パスです。

使用例としては、かかりつけ医や受けている介護保険サービス、健康状態などの基本的な情報をはじめ、医療機関が記入する検査や予防接種の記録、ケアマネジャーが記入する介護保険情報などを記録します。

自分らしい生き方を決める「エンディングノート」の役割を持っているのも特徴です。これまでの人生を振り返り、今後やってみたいことを考えるきっかけにしてもらえればと思います。そして、万が一の場合、延命治療はどうするか、最期はどこで過ごしたいか、自分の意思を明確に記すこともできます。普段は面と向かって言えない家族や友人、大切な人へのメッセージも一緒に残すことができます。

地域包括支援センター窓口で扱っているほか、ありだケアネット (http://www.arida-care.net/page/moshimo_note.html) からダウンロードできます。

もしもノートって
なんだワン?



もしもノート



様の

地域連携パス

開始日 平成 年 月 日



医療機関の受診や、介護保険サービス機関を利用する時は、必ずこのノートをお出しください。

有田地方介護連携の会・有田川町認知症連携の会・和歌山県

♥ ぴありんくる

■日時 / 2月15日(月)
10時30分~12時頃
■場所 / 金屋文化保健センター



『ぴありんくる』は介護している家族さんと本人さんの集まりの場です。お気軽にご参加ください!